

流れるように踊る — 『車いすダンス名古屋ビバーチェ』 —

障がいの有無や年齢、性別に関係なく、あらゆる人が一緒になって行うことができる車いすダンス。東海地区を中心に活動されている「車いすダンス名古屋ビバーチェ」にお話を聞いてきました。

障がい、年齢、性別に関係なく楽しめる車いすダンス
車いすダンスは、車いすの方と立位の方がペアになるコンスタイル、車いすの方同士がペアになるデュオスタイルの2種類があり、社交ダンスをはじめ、モダンダンス、新体操、ヒップホップなどいろいろな種類のダンスを行うことができるスポーツです。車いすに乗っている方をウィルチェアドライバー、立位の方をスタンディングパートナーと呼び、それぞれ息を合わせて、障がい、年齢、性別に関係なく楽しむことができます。

歴史は古く、1950年代のイギリスで生まれ、競技の社交ダンスと同様のスタイルでドイツをはじめヨーロッパを中心に広まりました。1990年代には幕張メッセでの世界大会、長野パラリンピックの開会式で披露され、日本にも広まってきました。

それぞれのペースで、みんなで話し合いながら練習

ビバーチェには小学6年生から70代まで約30名のメンバーが所属しています。一般的な車いすや電動車いすを利用される方、また親子で参加されている方もいます。それぞれのペースで参加し、いい仲間として焦らずに一緒に楽しくをモットーに、多様なメンバーそれぞれの特徴を生かしたダンスを行います。練習では、基本技術の反復からフォーメーションの確認など、ベテランの方を中心にひとつひとつ話し合いながら行います。メンバーの中には

手を使った表現も行えるようにと電動車いすを足で操作できるようにした方や、全体練習以外に個人練習を行う方など、それぞれが熱い気持ちで目標に向かって日々練習をしています。

魅力あふれる 車いすダンス!

「最初は手をつなぐのが恥ずかしかったけれど、いろいろな踊りがあって楽しくなった」と話すのは、ウィルチェアドライバーの男性。始めたきっかけは、仕事で毎週、体育館に足を運ぶうちに、自然と参加するようになり、今では楽しい仲間と発表に向けて頑張っています。スタンディングパートナーの女性は「体験で車いすに乗ってみたい楽しかった。この楽しい競技のお手伝いができたら」と車いすダンスならではの楽しさがあると話します。

サークル名のビバーチェにはイタリア語で「イキイキと」「活発な」という意味があり、まさに踊り手さんの「ビバーチェ」な姿と車いすの流れるような動きがとても魅力的な車いすダンス。そんなビバーチェのみなさんの素敵なダンスを観られる「車いすダンスフェスティバル2016」が9月4日に開催されます。会場の人と一緒に踊るダンスタイムや大抽選会、その他楽しい企画が盛りだくさん。誰もが車いすダンスを通じ、楽しいひと時を過ごすことができます。ぜひ足をお運びください。

(取材:山城敬一)



車いすダンスフェスティバルに向けて全員で合わせて練習



指先まで意識して、優雅に

Information

車いすダンス名古屋ビバーチェ
サークル長 寺田恭子
豊明市栄町武侍48 名古屋短期大学 福祉スポーツ研究室
TEL: 0562-97-1306 FAX: 0562-98-1162
E-mail: vivace.nagoya@gmail.com
練習: 毎週月曜日18:15~19:30
名古屋市障害者スポーツセンター体育館(見学歓迎)

イベント情報
ビバーチェ主催「車いすダンスフェスティバル2016」
日時: 9月4日(日)13:00~16:15(開場12:30)
場所: 名古屋市障害者スポーツセンター 体育館

第36回

企業の社会貢献活動の現場から



隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第36回となる今回は、株式会社メニコンです。

視ることから広がる社会とのコミュニケーション

株式会社メニコン コーポレートコミュニケーション部

私たちは人の心を豊かにする文化やスポーツの分野における独創的なクリエイターや意欲的なチャレンジャーを応援し、活動を通じて目の健康の大切さを啓発する目的で「視ることから広がる社会とのコミュニケーション」を展開しています。

スポーツ分野

1995年から「メニコンカップ(日本クラブユース東西対抗戦U-15)」に特別協賛しています。メニコンカップは、日本のクラブユースチームで活躍する、中学生世代の優秀選手が全国から集まるオールスター戦です。パロマ瑞穂ラグビー場で開催され、毎年1万人近くのお客様にご来場いただいています。これまでの大会出場選手の中には日本代表で活躍する宇佐美貴史選手などがあり、国内外のプロチームで130名を超える選手が活躍する、まさにプロ選手への登竜門といえる大会となっています。今年は9月11日(日)13:00キックオフです。



文化活動

メニコン本社内に文化施設「ギャラリーMenio」と「HITOMIホール」を開設しております。「ギャラリーMenio」はメニコンの歴史やものづくりを感じていただけるスペースとして、「HITOMIホール」は心豊かな時間を楽しむ多目的ホールとしてホールの臨場感や躍動感をお楽しみいただけます。人々の交流の場として地域の皆様に広く愛されることを目指し、一般の方にもご利用いただいております。



株式会社メニコン
名古屋市中区葵3-21-19
TEL:0120-103109

..... 次回は、株式会社ノリタケカンパニーリミテドをご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

特定非営利活動法人 アスペディア "asupedia"

法人設立

2016年2月9日

代表者

大西 健司

連絡先

E-mail: arcadia-0@na.commufa.jp

活動分野

障がい者

活動目的

発達障がい者とその周囲の方々(保護者・支援者など)へのサポートと情報発信、発達障がい者が働きやすい職場づくりの提案などを行うこと。

活動内容

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

団体PR

発達障がい者とその周囲の方々(保護者・支援者など)へのサポートと情報発信、発達障がい者が働きやすい職場づくりの提案などを行うため、2016年2月に設立しました。アスペディアasupediaは、「asperger syndrome(アスペルガー症候群)」+「arcadia(理想郷)」の造語です。6月26日にNPO化記念イベントを開催しました。これからもセミナーや相談会などを実施していきます。

平成28年度会員募集中です。また、イベント時のボランティアを募集しています。詳細はお問い合わせください。担当者:大西